

株式会社 新興製作所

時代に合った材料を
切る、磨く海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産
対応

落合事業部工場内のポリシング加工の様子

業務
内容
太陽電池ウエハーの
スライス加工が主力

「時代に合った材料を加工してきた」

と浅野幸宏社長は自社の歴史を振り返る。古くはオーディオ機器用の電子部品からはじまり、金属、セラミック、水晶などの材料を研磨加工してきた。

砥粒を含んだ液体（スラリー）を流しながら研磨機械で材料表面を1000分の1mm精度で平坦にするラッピング加工と、その表面を鏡のように磨き上げるポリシング加工を手がけ、電子部品やレーザー発振器用の光学部品などを加工してきた。現在は太陽電池セルに使用されるシリコンウエハーのスライス加工が主力事業。ダイヤモンド砥粒を固着したワイヤーを使い、シリコンの塊（インゴット）を150mmほどの薄いウエハーに切断している。



太陽電池用シリコンウエハーを加工する津山事業部（津山工場）

強み
ダイヤモンドワイヤーによる加工法の開発に協力

さまざまな材料を加工して、大手電機メーカーや電子部品メーカーが要求する品質、納期に应运えてきた。「顧客の求めに応じてさまざまな加工法を提案できる」と技術の蓄積に自信を見せる。スライス加工では工具メーカーや機械メーカーと協力してダイヤモンドワイヤーによる加工法を開発した経験があり、各メーカーとの関係も深い。また、昭和30年頃から大阪大学と研磨

技術の産学連携を始めたのをきっかけに、大阪府立産業技術総合研究所など複数の研究機関と加工技術だけでなく、材料製造の研究開発にも取り組んでいる。

研究
開発
SiC材料の開発に挑む

現在、取り組んでいる研究開発テーマは、新しいパワー半導体への利用で注目される炭化珪素（SiC）やレーザー発振素子に使われるYAG（イットリウム・アルミニウム・ガーネット）といった材料を製造する技術だ。SiCは伊丹工場の昇華炉を使ってインゴットの製造技術にめどを付けており、平成27年中にも高周波デバイス用として商品化したい考えだ。YAGは茨城県つくば市の物質・材料研究機構に社員を派遣して研究中で、自動車用ヘッドランプ光源などに利用可能な蛍光体として商品化することを目指している。

今後の
展望
目指すは
材料メーカーへの脱皮

今後、切る・磨く技術を中心に据える考えは変わらない。当面の課題は太陽電池用シリコンウエハーのスライス加工技術をさらに高度化し、海外に負けないコスト力を身につけること。さらに、切る・磨く技術を生かせる材料を自社で製造することも大きな目標だ。材料製造技術を確立し、自社製SiCインゴットをウエハーまで一貫加工して提供できる体制をつくる。「私自身が夢を持たなければ、社員にも語れない」。浅野社長が目指すのは加工業から材料メーカーへの脱皮だ。

COMPANY PROFILE

株式会社新興製作所

大阪
26ISO 9001
ISO 14001当社の
歴史

門真市で古川製作所として創業して以来、55年にわたって事業を続けてきました。電子部品や光学部品の研磨加工で事業を拡大し、現在は兵庫県伊丹市の伊丹工場のほかに岡山県真庭市と津山市に工場を置いています。平成10年にグループ会社を統合して社名を新興製作所としました。平成19年に現在の主力であるソーラー用ウエハーの加工事業を始めました。

自社製SiCインゴットの製造技術の確立を目指しています。

代表取締役社長 浅野 幸宏さん



■主な事業内容

ラッピング・ポリシング・
スライスの加工メーカー

■主な取引先（納入先）

電子部品メーカー、家電
メーカー、総合商社、大学
等研究機関住 所／〒534-0016
大阪市都島区
友洲町3-4-22-208
T E L／06-6921-5602
F A X／06-6928-2284
創 業／昭和35年5月
設 立／昭和37年11月
資本金／6,100万円
従業員／180名<http://singo-fh.co.jp/>